

芝生・緑地管理の除草剤

ケイピンエース



除草剤分類

2

| | |
|---------|-------------------------------|
| 農林水産省登録 | 第21217号 |
| 有効成分 | イマザピル・・・・・・・・・・ 本剤10本当たり100mg |
| 性状 | 長さ約5cmの先端部が尖った木針 |
| 人畜毒性 | 普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称） |
| 有効年限 | 5年 |
| 包装 | (50本×10) × 6函 |

特長

✓ 「ケイピンエース」は、通常の除草剤とは全く異なったユニークな「除草材」で、強力な殺草力をもつイマザピルを木針（楊枝状）に浸み込ませ、特殊な製剤に加工しており、難防除とされる「クズ」枯殺の専用剤です。

✓ 特殊製剤（木針製）であり、持ち運びに便利で能率的に作業することができます。

✓ ごく微量の有効成分をクズの根株に施用することにより、クズの全体を防除することができます。

✓ 一年中使用でき、効果の差はありませんが、根株の見つけやすい秋～春（冬期）に処理するのが効率的です。

適用作物と使用方法

| 作物名 | 適用場所 | 適用雑草名 | 使用時期 | 使用量 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | イマザピルを含む農薬の総使用回数 |
|---------------------------------|---|-------|---------|---|---------|---|------------------|
| すぎ (下刈り代用) ひのき (下刈り代用) | — | クズ | 萌芽期～生育期 | 一株当たり1～3本 | — | クズの根株、又はなるべく根元に近い茎にあらかじめ本剤を差し込むために適当な穴をあけ、本剤を葉の露出部全部がかくれるように差し込むこと。 | — |
| 林木 | 造林地 | | | 木本性つる類 | | つる径：本数 ～3.0cm：1～2本 3.1～5.0cm：3～4本 5.1～6.0cm：5～6本 6.1cm以上：7本～ | |
| 樹木等 | 公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等 | クズ | 伐採直後 | 一株当たり1～3本 | 1回 | 植栽地を除く樹木等の周辺地のクズの根株、又はなるべく根元に近い茎にあらかじめ本剤を差し込むために適当な穴をあけ、本剤を葉の露出部全部がかくれるように差し込むこと。 | 1回 |
| | | ギンネム | | 切り口直径：本数 ～5.0cm：3～5本 5.1～10.0cm：5～10本 10.1cm～：15本～ | | 植栽地を除く樹木等の周辺地のギンネムの地上部を伐採後、なるべく根元に近い部分にあらかじめ本剤を差し込むために適当な穴をあけ、本剤を葉の露出部全部がかくれるように差し込むこと。 | |

※本内容は2023年10月11日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

- 本剤は非農耕地および造林地（すぎ、ひのき）の下刈り代用として使用してください。
- 本剤は根株にさすのが最も効果的です。
- つる（茎）にさす場合は、直径が1cm以上のものにさし込んでください。ただし、下刈り代用の場合は直径3cm以上の株のみ処理し、つるへの処理は行わないでください。茎葉散布剤処理後、残った大株に処理するようにしてください。
- ギンネムに使用する場合、切り口直径が大きなものを使用する時は、所定の範囲内で多めの本数を処理してください。
- 処理後、本剤が抜けて落ちると造林木に薬害を生じるおそれがあるので、簡単に抜けないよう適当な太さの錐などで穴をあけてさし込んでください。
- 使用時期は通年となっておりますが、根株のを見つけやすい秋～春が効率的です。
- 薬剤が雨、雪などで流れ落ちると造林木に薬害発生のおそれがあるので、薬の露出部が全部かくれるようさし込んでください。
- 降雨、降雪中での使用はさけてください。
- 使用に当たっては、使用量、使用方法、使用条件（土壌条件など）を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は林業関係機関等の指導を受けるようにしてください。
- 本剤処理の前後に処理株のつる切りを行うと、切り口の溢水水によって植栽木に薬害を生じることがあるので注意してください。

安全使用上の注意事項

- 使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、処理中および処理後（少なくとも処理当日）に小児や処理に関係のない者が処理区域に立ち入らないよう、縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう、注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は、必ず安全な場所に保管してください。
- 木質部は可燃性なので火気に近づけないでください。

魚毒性等

この登録に係る使用方法では問題ありません。

保管

密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。